

発行:北恵株式会社 〒541-0054 大阪府中央区南本町3-6-14 TEL. 06-6251-6701
http://www.kitakei.jp/

テーマ:「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 調査発表会 2016」

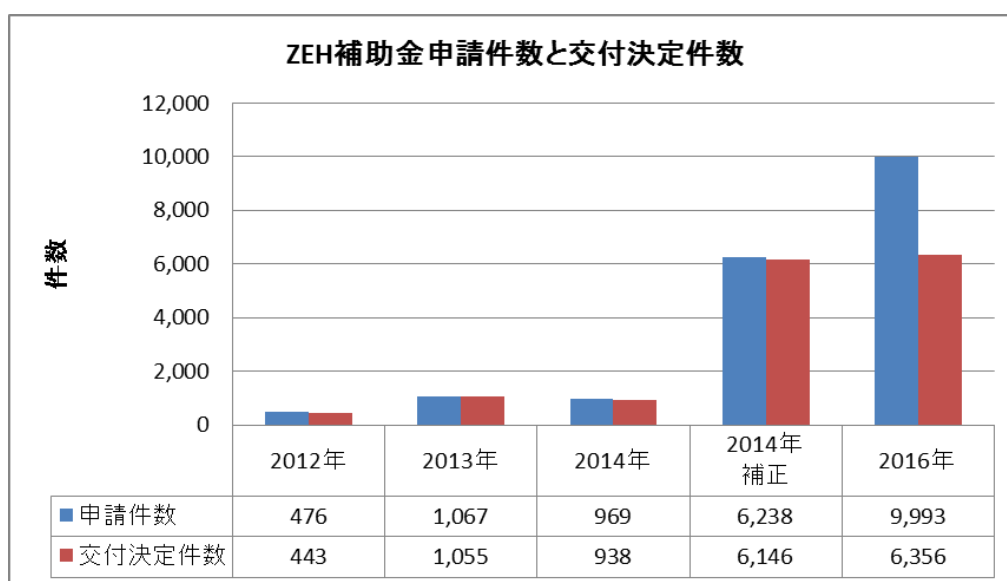
ZEH 支援事業の調査報告会が開催され、登録ビルダーは 6 か月間で 3,600 社となった。しかし、申請件数はハウスメーカーが主体で工務店の申請が伸び悩んでいる。消費者の関心が高まる中、受注につながる提案が課題になっている。

1. 2016 年度 ZEH 支援事業の申請件数は 9,993 件

経済産業省は毎年、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業の推移やエネルギー使用状況に関する分析結果を通し、今後の課題やテーマを広く共有することを狙いとして調査発表会を行っている。実施は、同事業の執行団体である一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)が担当し、今年度より導入した「ZEHビルダー登録」についての登録状況等も報告された。

2016 年度 ZEH 支援事業の最終的な申請件数は 9,993 件と、2014 年 3 月～15 年 3 月に実施した ZEH 支援事業(2014 年度補正事業、以下 15 年実施事業)の 1.6 倍に急増した。これに対し、2016 年度 ZEH 支援事業の交付件数は予算の都合で 15 年度実施事業の実績より 210 件増えた 6,366 件で終了したため、最終的な採択率は 63.6%に留まった。

ちなみに、2016 年度 ZEH 支援事業の採択率は三次公募以降下がりが続き、最後の五次、六次は 17.1%となったため、申請者から不満の声が上がっていた。経済産業省は 2016 年度第 2 次補正予算で、ZEH などに関して 110 億円の予算が成立したことから、事業の継続を決め、すでに一次公募を開始している。

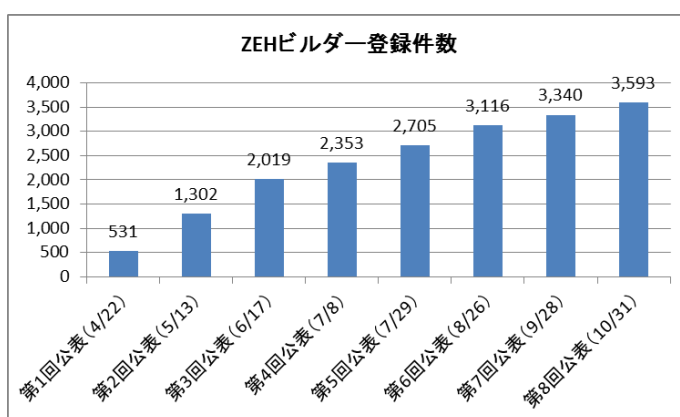


2. 工務店の申請は3倍増だが、79%は申請ゼロの登録ビルダー

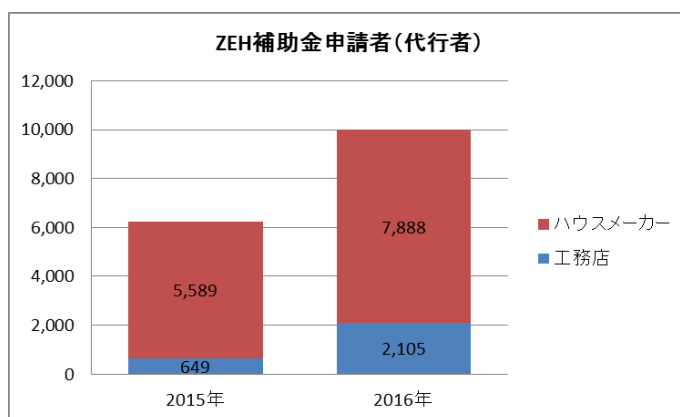
今年4月にスタートしたZEHビルダー登録制度では、10月21日時点で3,593社が登録されている。ZEHビルダーは、原則1事業者1登録になっているが、ハウスメーカーやフランチャイズなどグループ網で事業展開している場合には本社、本部で一つの登録が認められている。登録ビルダーの多い都道府県は、静岡県(238社)、愛知県(206社)、福岡県(155社)、大阪府(147社)、長野県(127社)などとなっている。

2016年度ZEH支援事業では、工務店が申請した補助金の件数は2,105件と、2015年実施事業(649件)の約3倍に増えた。また全件数に対する工務店の割合は21.1%で、15年実施事業より10.7ポイント増えており、ZEHビルダー登録制度がスタートしたことから工務店の意識改革、消費者への認知が進んでいるようだ。

だが、2016年の申請件数ごとの登録ビルダー数を見ると、3,593社のうち、補助金申請数がゼロ件であるビルダーが79.0%と最も多く、1件の11.8%、2件の3.9%がそれに続いている。登録したものの、ZEHの受注が進まない工務店が少なくないことが伺える。一方、11件以上申請しているZEH登録ビルダーは、47社あり、申請件数は8,631件、全体の86.4%を占める。ハウスメーカーやフランチャイズグループが多く占めると推測されるが、1.3%の事業者が86.4%を占める結果になっている。



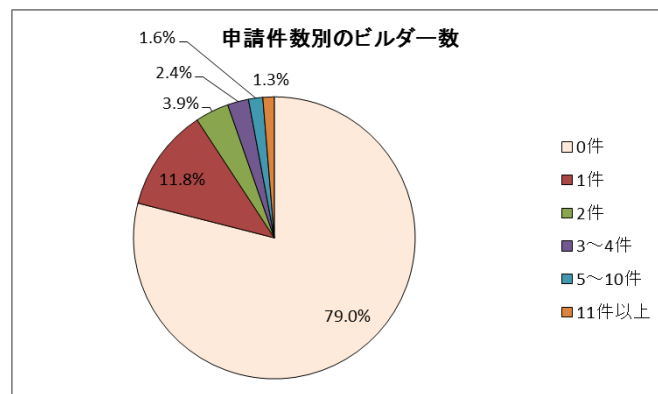
経済産業省は、2016年度ZEH支援事業で補助金申請したにもかかわらず採択されない事業が多数発生したことと、まだ補助金の申請をしていないZEHビルダーが多いことを受けて、2016年度補正ZEH支援事業では公募内容を一部変更している。また、補助金の交付をまだ一度も受けていないZEHビルダーが最初に申請する事業に対し、削減率10ポイント相当を加点するなど申請意欲を上げるよう促している。



16年度補正ZEH支援事業の一次公募は12月2日に締め切り、17年1月下旬に交付決定数を公表する予定となっている。なお、公募の際の事業名は「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)普及加速事業費補助金」と変更されており注意が必要である。

■補助金申請件数別のビルダー数

	ビルダー数		申請件数	
	会社数	構成	件数	構成
0件	2,837	79.0%	0	0.0%
1件	424	11.8%	424	4.2%
2件	139	3.9%	278	2.8%
3~4件	87	2.4%	291	2.9%
5~10件	59	1.6%	369	3.7%
11件以上	47	1.3%	8,631	86.4%
計	3,593	100.0%	9,993	100.0%



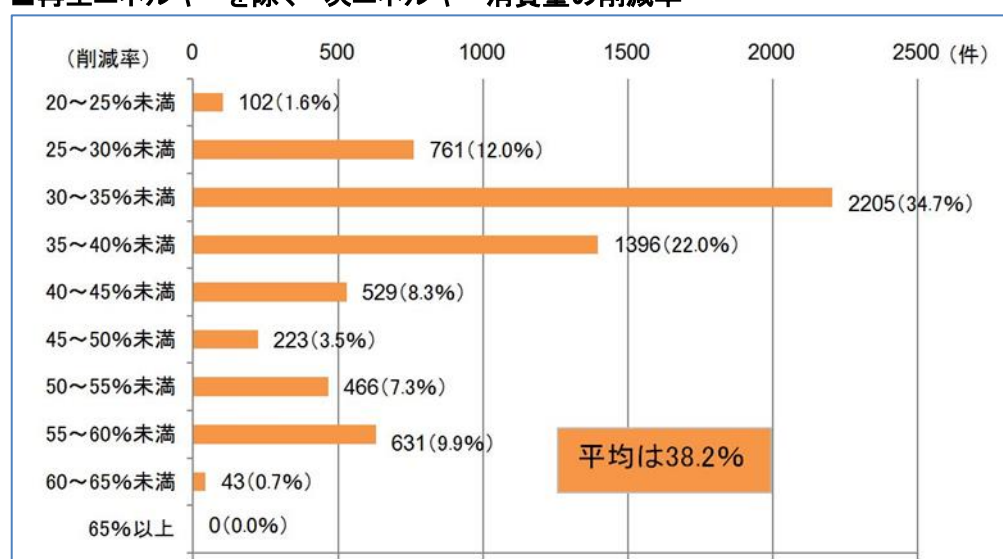
3. 一次エネルギーの削減率 38.2%

再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費削減率は、30%以上～35%未満が最も多く(34.7%)、35%以上 40%未満がそれに続いた(22.0%)。平均は 38.2%となっている。

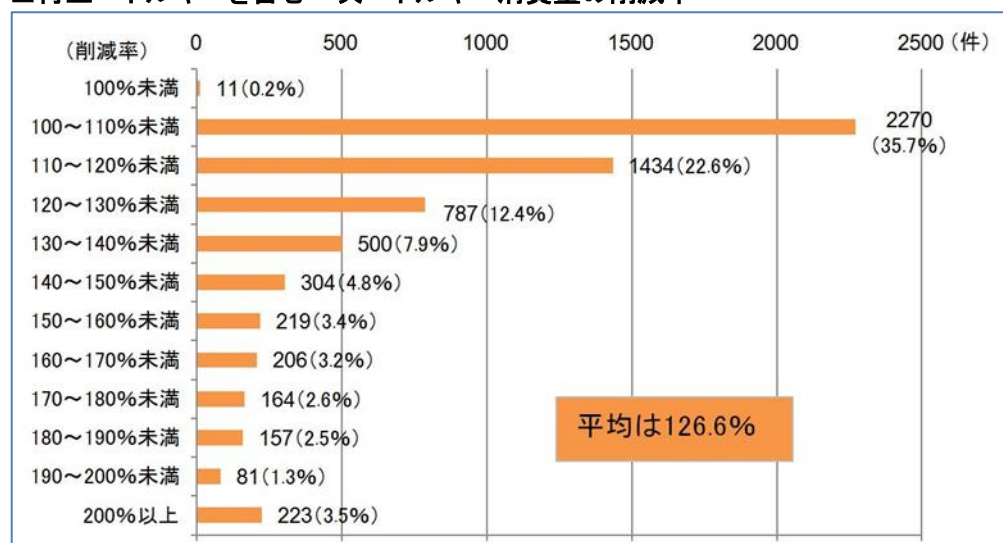
また、再生可能エネルギーを含む一次エネルギー消費削減率は、交付要件である 100%をわずかに超える事業が 35.7%と最も多い。平均は 126.6%となっている。

暖房設備の装備は、高効率個別エアコンが 49.9%で、床暖房(45.4%)の比率を上回った。給湯設備は電気ヒートポンプ給湯器(エコキュート)が 65.2%と最も多く、燃料電池(エネファーム)が 24.9%で続いた。また、蓄電池の採用率は 17%で、平均容量は約 6kWh となっている。

■再生エネルギーを除く一次エネルギー消費量の削減率



■再生エネルギーを含む一次エネルギー消費量の削減率



※「ネット・ゼロ・エネルギーハウス支援事業調査発表会 2016」の資料より

<https://sii.or.jp/zeh28/conference.htm>

キタケイの提供するプライベートブランド

環境・ぬくもり・素材をテーマとした各種住宅資材 “ スプロートユニバーサル ”

企画・製造から販売までトータルにプロデュースし、心からご満足いただける住まいづくりをバックアップします



www. sprout-univ. com

遮熱・透湿・防水・防風

HEAT BARRIER SHEET II



規格サイズ

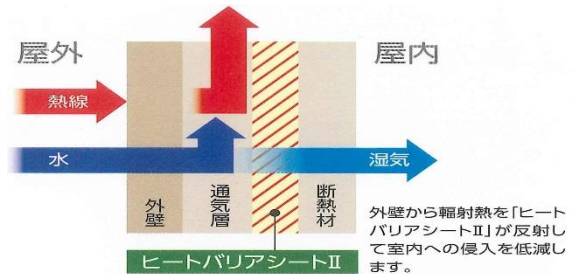
品名	ヒートバリアシートII
品番	HBI-50
サイズ	0.2mm×1,000mm×50m巻
入数	1本/ケース
税別価格	¥24,000-/本

⚠ ヒートバリアシートII 使用上のご注意

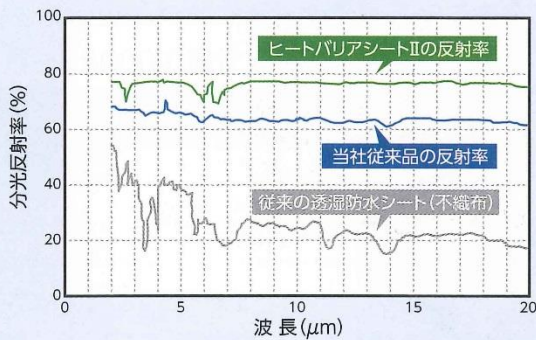
- ※当商品は壁用ですので、屋根、天井には使用しないでください。
- ※当商品を火や高熱物に近づけないでください。
- ※当商品を直射日光に当たる場所には保管、放置しないでください。

ヒートバリアシートIIの特徴

遮熱機能を持ち、かつ従来の透湿防水シートの施工性・高い透湿性と防水性を保持した商品です。遮熱性に反射率の高いアルミ箔ではなくアルミ特殊コーティング不織布を使用しているのも透湿性を確保する為です。透湿性能は内部結露を防止する上で非常に重要であり、高い透湿性がヒートバリアシートIIの特徴です。



■ 遮熱性



■ 遮熱効果(通過熱量差)

